

まちづくり 話し合い ひろば

参加 19名

2023.4.19

砂町文化センター

13:30~15:30

「まちづくり話し合いひろば」では、日頃から感じている地域の福祉課題や強みを念頭においていただきながら、「福祉のまちづくり」のアイデアを出し合います。そのアイデアを第5次地域福祉活動計画の中に盛り込むことで、実際の活動へとつなげ、広げていくための機会とします。



ワークショップ 地域のいいところ

1班



- ① 商店が多い。砂町銀座の存在もとても大きい。スーパーもいくつかある。
- ② 緑が多い。河川が多く散歩に恵まれており公園もたくさんある。
- ③ 交通の便が良い。鉄道は東西の線だけしかないが、南北のバスの線がとても便利。
- ④ 社会資源として、デイサービスや長寿サポートセンター、リハビリ施設が多い。
- ⑤ マンションと一戸建てとがバランス良く建っている。

- ① 交通の便の良いところ。
- ② 砂町銀座と新しいショッピングセンター、団地と一戸建て等、普通は交わらないであろう者同士がうまく共存している。
- ③ バスが便利。小名木川沿いの散歩が素敵。

住んでいて感じないこと・気づかないことに、他の方の意見を伺って気づくことがあり、話し合えて良かったと思った。



2班



3班

- ① 環境。緑がたくさんあり散歩道がたくさんある。
- ② 住みやすさ。子どもの声が多くなった。下町で高齢者の方が住みやすい。昔からの砂町銀座もある。
- ③ 人柄の良さ、人情深さ。たまにお隣さんが風邪を引いたと聞けば、そのお隣さんが煮物を持っていってくれたりするような昔の長屋のような生活の場所もある。
- ④ 気さくな人が多い。話に楽しく乗ってくれる。

4班



- ① 交通の便が良い。バスがあって移動しやすく、買い物と病院に行くのに困らない。区内だけでなく区外へ行く場合にも動きやすい。
- ② 公園に必ずトイレがある。子ども・高齢の方が出かける時にどこにトイレがあるか分からないと安心して出かけられないという方でも移動しやすい。
- ③ 緑が多く水辺も緑豊か。
- ④ 大きなお世話が通用する地域特性がある。地域行事がたくさんある。人の関わりが密。隣近所で助け合ったり、お母さんがしばらくいなくて留守番をしているお子さんの様子を周りで交代で見たりする関わりがある。

- 社会資源。買い物しづらい地域がある。細い道が多く夜になると暗い。障害のある方が暮らせるグループホームが少ない。
- 火の用心で回っていると「うるさい」と言って110番される等人情が通じない人もいる。
- 交通の便が悪い場所もどうしてもある。
- インターネットを使えない高齢者が多い。
- 銭湯が減っている。
- 砂町銀座の貸店舗が増えている。
- 単身向けの家賃の高い賃貸マンションが増えている。比較的金の払える若い方は賃貸マンションに入るが、地域に根ざして何かしようという考え方はない。
- 北砂五丁目団地等URにインド人のお子さんが多いが、日本の学校に通っていないのでなかなか日本になじめない。
- 人とのつながり。マンションの自治会の高齢化、人とつながっていない、ボランティアの担い手として次の世代が出てこない。
- 居場所が欲しい。子育てや高齢化問題等まるごとどこに頼ったらいいのかというところ、社協に頑張ってもらいたいと思うが、よろず相談の受け手が無い。



まとめ



本日は、「地域のいいところ」と「地域の困りごと」をセットで考えました。そうすることで「地域の強みや」「地域の弱み」を浮かび

上がらせることができました。今回を基に、6月21日の2回目では、他の区全体の調査などの課題と突き合わせて振り返りを行います。

今日の「地域のいいところ」と「地域の困りごと」で出たご意見をもとに、次回2回目のワークショップでは「6年後にこうなったらいいなあ」と思う地域の目指すべき姿のビジョンを挙げていただき、共有し、個人でできる事、地域でできる事の目標を導き出したいと思います。

地域福祉活動計画担当 井上博



強調したいのは、むしろここで出てこなかった課題が、将来自分たちもぶつかった時に困ってしまう課題であるし、今地域の中で排除されている問題であるということ。

私たちが今やろうとしていることは一言で言えば「自治」。自分たちの望む暮らしは自分たちで作っていくということ、地域福祉とはそういうことだと思っています。その一歩として、今回「地域を見つめ直す」ということをしました。これが第2回以降のひろばにつながっていくんだろうと思います。社協職員の方たちがここからは「住民主体」で地域づくりをしていく、そして社協も一緒にやっていくという強い思いで、陰で努力していらっしゃるの、ぜひ拍手でたたえて差し上げて欲しい。

高崎健康福祉大学
健康福祉学部 岡田哲郎 講師

